



かわら版

◇いつもと違った視点で
まちを歩いてみよう！

感動・発見・課題の共有を

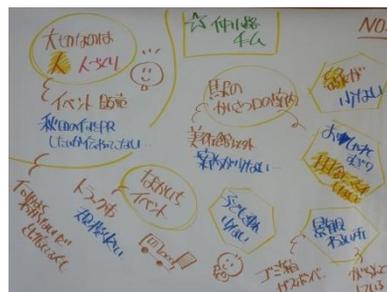
平成26年8月30日（土）にアルヴェエを会場に、「エイジフレンドリーシティカレッジワークショップ」の第2回目が開催されました。この日のメインは「タウンウォッチング」。人・建物・まちの様子など、普段見ているように見ていなかったものを発見する、まちあるきワークショップです。「いつもと違った視点でまちを歩き、感動・発見・課題の共有をしよう。」と、武藤ファシリテーターからタウンウォッチングのポイントについていくつかお話がありました。

①秋田駅～バスターミナルコース②仲小路コースの2組に分かれ、カメラで写真を撮ったり、気がついたことをメモしながら約50分ほど散策。土曜日ということもあり、駅の通路やアゴラ広場、仲小路、エリアなかいちは各種イベントで比較的人出の多い日でした。

秋田杉で統一されたバスターミナル



タウンウォッチングから帰ってきた後は、撮ってきた写真やメモを元にグループ毎に意見交換し、それぞれ発表を行いました。



意見交換では次のような意見が出されました。全体としてややネガティブな内容が多かった印象です。

- ① 観光案内が充実していない（案内所・表記）
- ② バスターミナルの木の使い方が良い
- ③ まちのなかに緑が少ない
- ④ イベントで秋田の何をPRしたいか伝わってこない
- ⑤ 駅前～仲小路の景観がおしゃれすぎ
- ⑥ 田舎にマッチしていないのでは

次回は、タウンウォッチングで出た課題点を分析し、なぜそうなのかという背景を探っていきます。

